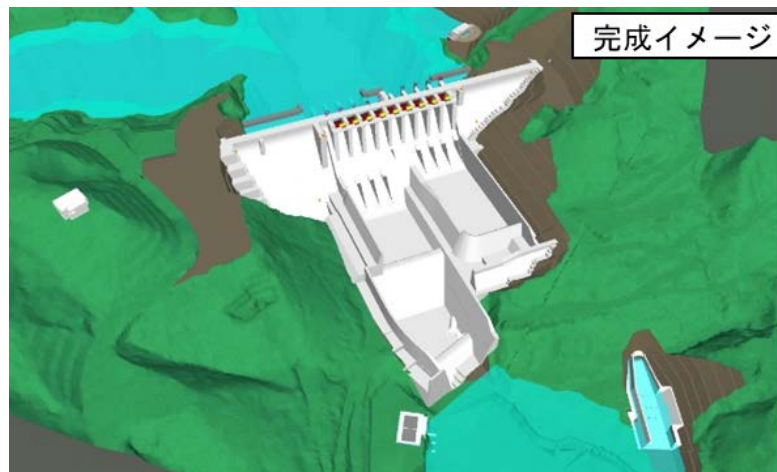


# 本体工事における環境配慮の取組みについて

○ダム本体工事の着工に向け、生活環境等の保全の観点より、掘削工事に伴い発生する建設発生土の対策等について「中部地方整備局岐阜県内建設発生土処理対策員会」を令和3年3月29日（月）に開催し、学識者から助言を受けましたので、その結果を報告します。

## 委員会名簿（五十音順）

岐阜大学 工学部 社会基盤工学科	神谷 浩二	教授
岐阜大学 工学部 社会基盤工学科	小嶋 智	教授
岐阜大学	佐藤 健	名誉教授
岐阜大学 工学部 社会基盤工学科	篠田 成郎	教授
一般財団法人自然学総合研究所	寺尾 宏	主任研究員
岐阜医療科学大学薬学部	永瀬 久光	教授



## 【助言の内容】

### 1) 掘削土の評価について

ダムサイトでは、

#### ①重金属等の溶出の観点

- ・砂岩、チャート及びD級（全岩種）は、リスクがないと評価する。
- ・珪質粘土岩、瑞浪層群を要対策土と評価し、その他の岩種はリスクが小さいと評価する。

#### ②酸性化の観点

- ・酸性化により重金属等の溶出が促進される傾向は認められないものの、一部岩種では酸性化の留意が必要である。

原石山では、

#### ①重金属等の溶出の観点

- ・砂岩（鉍脈鉍染帯）を要対策土と評価し、砂岩、粘板岩の廃棄岩はリスクがないと評価する。

#### ②酸性化の観点

- ・砂岩（鉍脈鉍染帯）以外は酸性化により重金属等の溶出が促進される傾向は認められないものの、砂岩（鉍脈鉍染帯）は酸性化による重金属等の溶出促進が認められた。

### 2) 対策について

#### ①要対策土の処置は遮水工（二重）による封じ込めを行う。

#### ②要対策土以外の処置は盛土時の締固め及び表面に覆土を行う。

#### ③対策（要対策土及び要対策土以外）にあたっては、盛土周囲に側溝等を設け雨水の浸入を抑制とともにモニタリング体制を強化する。要対策土以外の盛土においては、影響が生じた場合に原因特定しやすいよう掘削土の評価に応じ盛土場所を区分する等の施工上の工夫を行う。

# 本体工事における環境配慮の取組みについて

## ○新丸山ダム本体建設工事の概要

工事場所：岐阜県加茂郡八百津町・可児郡御嵩町  
 工事概要：本体基礎掘削  $\Sigma V \approx 77$ 万 $m^3$   
 堤体コンクリート  $\Sigma V \approx 130$ 万 $m^3$   
 原石山掘削  $\Sigma V \approx 200$ 万 $m^3$

### 洪水調節

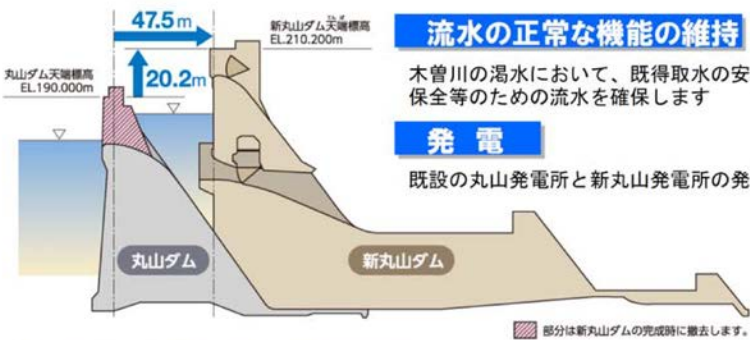
昭和58年9月28日規模の洪水を木曾川で安全に流下させます

### 流水の正常な機能の維持

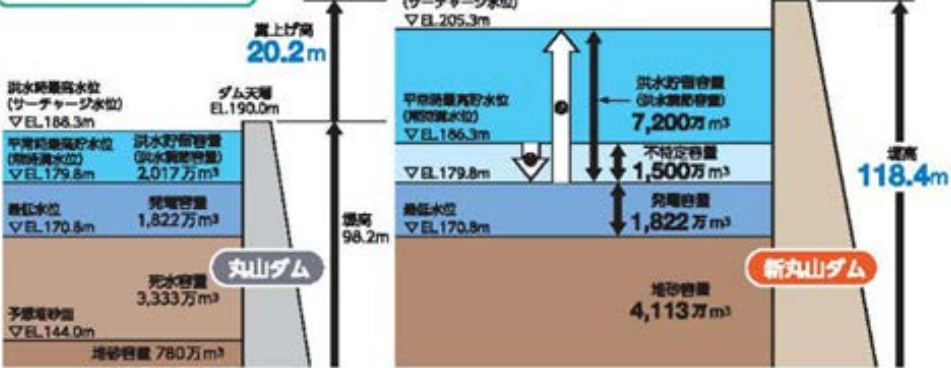
木曾川の濁水において、既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水を確保します

### 発電

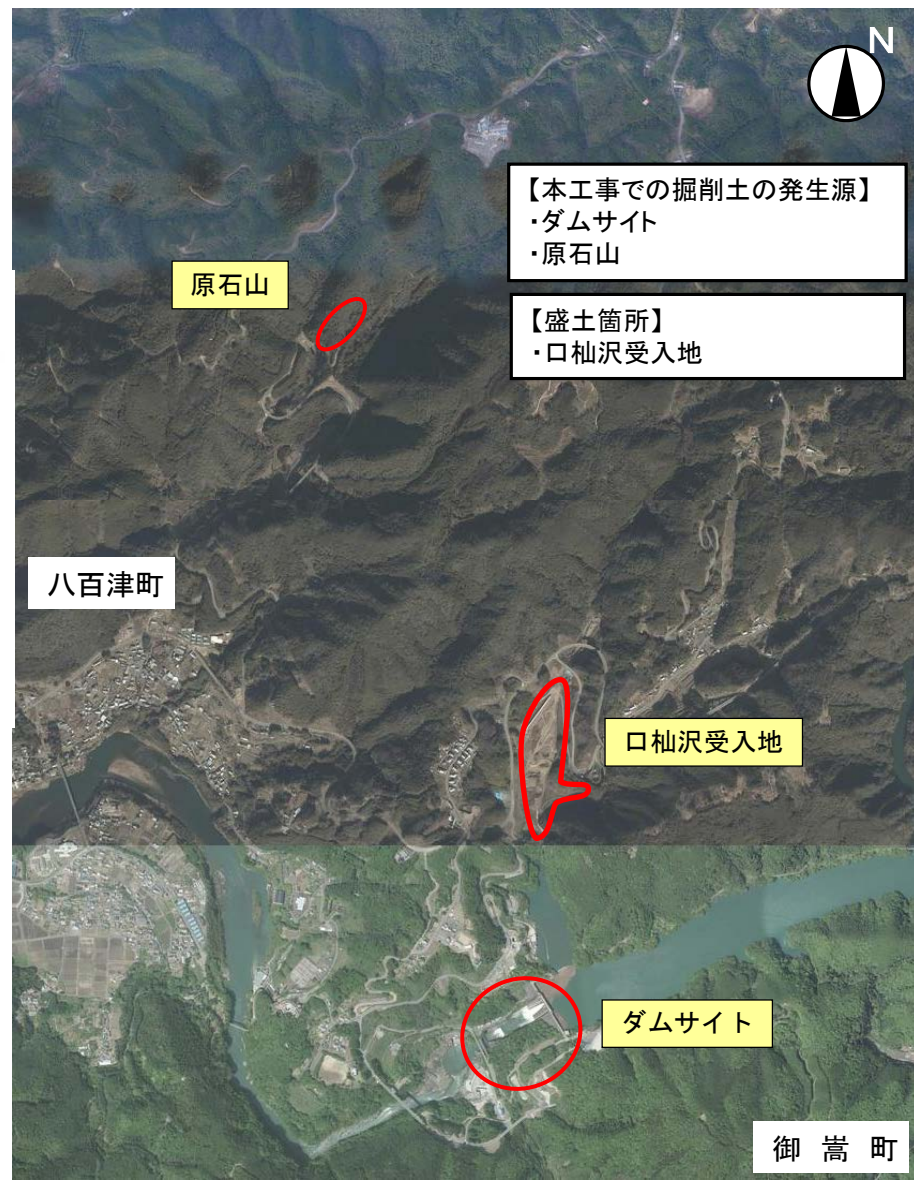
既設の丸山発電所と新丸山発電所の発電量を増やします



### 貯水池容量配分図



●：洪水貯留（洪水調節）の準備をするため事前に水位を下げる操作（予備放流） ●：洪水貯留（洪水調節）を行う操作



【本工事での掘削土の発生源】  
 ・ダムサイト  
 ・原石山

【盛土箇所】  
 ・口杣沢受入地

口杣沢受入地

ダムサイト

御嵩町

## ○掘削予定地の土質状況

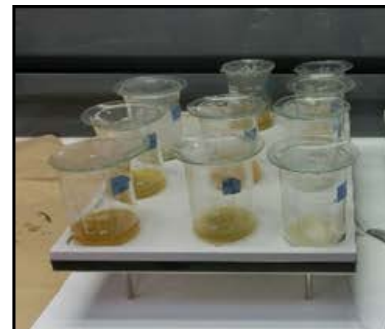
※土壌溶出量調査結果(掘削岩石を粉砕調整した試料による試験結果)

### 【ダムサイト】

泥質混在岩	: ヒ素	3/17検体	0.011~0.018	(基準値0.01mg/L以下)
砂質混在岩	: ヒ素	3/ 8検体	0.013~0.027	( " )
安山岩	: ヒ素	3/ 3検体	0.082~0.14	( " )
珪質粘土岩	: ヒ素	3/ 6検体	0.011~0.035	( " )
瑞浪層群	: ヒ素	7/10検体	0.015~0.043	( " )
砂岩	:	0/ 6検体	* 基準超過なし。	
チャート	:	0/ 3検体	* 基準超過なし。	

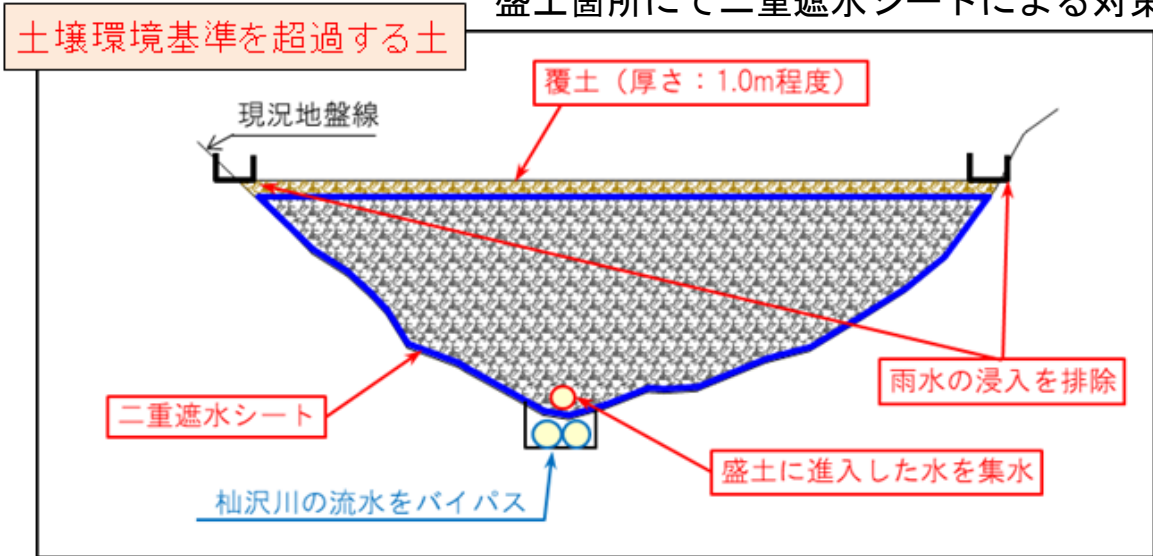
### 【骨材採取地】

砂岩	:	0/21検体	* 基準超過なし。	
粘板岩	: ふっ素	2/ 7検体	0.95~0.99	(基準値0.8 mg/ L 以下)
鉍脈鉍染帯	: ふっ素	6/ 8検体	1.7 ~8.7	(基準値0.8 mg/ L 以下)
(砂岩)	ガドリウム	1/ 8検体	0.015	(基準値0.01mg/ L 以下)
	鉛	3/ 8検体	0.015~0.13	(基準値0.01mg/ L 以下)

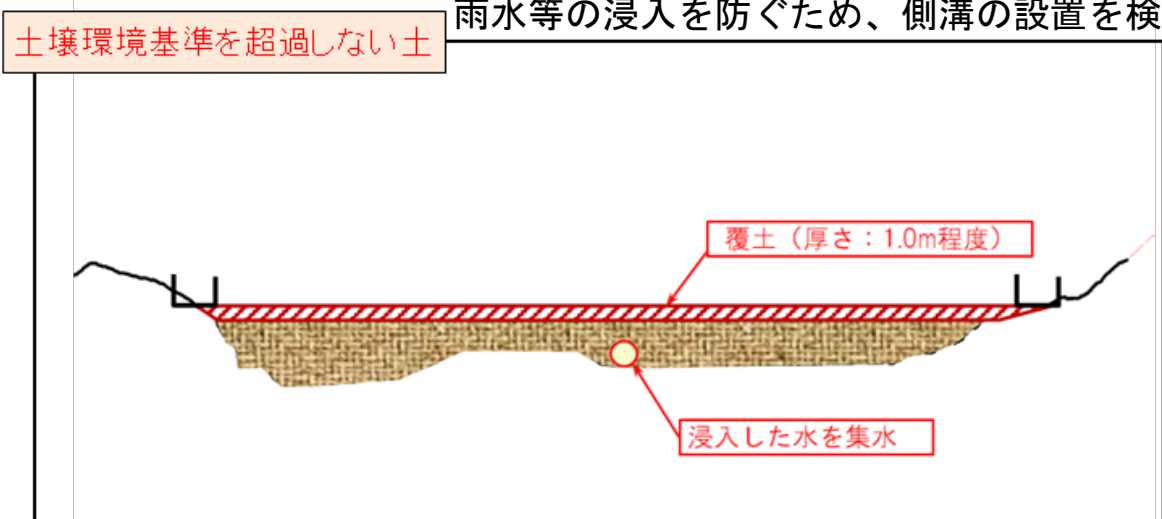


## ○対策

盛土箇所にて二重遮水シートによる対策を行う。



雨水等の浸入を防ぐため、側溝の設置を検討する。



- ・ 盛土箇所からの排水について、水質モニタリングを実施する。
- ・ 水質モニタリングは、土壤環境基準を超過した項目を実施する。